

「やまなしの教育振興プラン」目標となる指標の達成状況

担当課	指標の概要	H19年度の 現況値	H25年度の 目標値	H25年度の 実績値	達成率 %	今後の取組
時代の要請に応える教育の推進						
44 義務教育課	【環境教育への取組状況】	小 87.8 %		小 100 %	100.0	今後県内の全ての小・中学校で継続した取組が行われるように、ホームページや研修等の場で先進的な取組の紹介や呼びかけを行っていく。
45	・省エネ・省資源活動等に取り組んでいる学校の割合	中 84.4 %	100 %	中 100 %	100.0	
46 高校教育課		高 75.9 %		高 100 %	100.0	
47 高校教育課	【福祉教育への取組状況】 ・福祉の心を培い、福祉の実践力を高めるための福祉教育に取り組む高校の割合 小・中は100%達成済	高 92 %	高 100 %	高 100.0 %	100.0	家庭科部会だけでなく、生徒会主任研究協議会、生徒指導主事研究協議会などにおいても、各校がどのような活動に取り組んでいるのか研究していき、それぞれの学校で実施可能な取組の種類や参加者数を増やしていくとともに、活動内容を一層充実させるよう支援していく。
48 義務教育課	【情報教育への対応状況】	小 56.8 %	小 70 %	小 67.9 %	84.1	管理職研修会、合同指導主事会議、学校訪問等を通して、ICT教育の必要性や有効性について資料等を使って周知を図っていく。 PCリーダーによる校内研修会の実施や総合教育センターからの出前研修制度を利用するなどの方法を各校のPCリーダーを通じて周知し、各教員のコンピューター等の活用能力向上に向けて学校を挙げて取り組めるよう支援していく。 各校管理職研究協議会を通じて、各校の教員が総合教育センターのICT関連の研修会参加への積極的に参加することを奨励するよう依頼していく。 引き続き指導主事の各教科訪問時に、各教科に適した教材提示など簡単な利用法や、全国的な傾向やその利用法について普及を図り、授業でのコンピューター等の積極的な活用を支援していく。
49		中 56.3 %	中 70 %	中 63.3 %	51.1	
50 高校教育課	・コンピューターや提示装置等を活用して指導する能力を持つ教員の割合	高 64.3 %	高 80 %	高 68.5 %	26.8	
51 高校教育課	【高大連携への取組状況】 ・大学教員による授業を取り入れている高校の割合	高 69 %	高 80 %	高 87 %	163.6	学校行事、総合的な学習の時間、LHR等、各校により大学との連携の取組形態は様々であるので、今後進路指導主事研究協議会などにおいて、各校の取り組みを紹介し、情報交換を進めていくことによって、未実施校においても大学との連携が実施できる環境づくりを支援していく。 今後生徒の満足度も向上させていくため、大学が開催する公開講座等の情報を、進路指導主事研究協議会等を通じて各校に提供していくことにより、生徒が自分の興味関心に応じた講座に参加できるよう支援していく。